

大人の楽しみ 絵本の世界

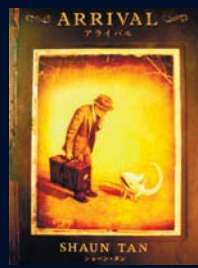


絵本を読み聞かせてもらったのって、もういつのことだろう？
子どもの頃は楽しみにしていた絵本の時間も、大人になるにつれて遠のいていった。でも近頃、大人向けの絵本や読み聞かせがひそかなブームらしい。その理由のひとつが、高齢者への読み聞かせの効果なんだって。大人になった今、私も絵本を通して、人の役に立てばと思う。そして、もう一度、子どもの頃のようなワクワク感で絵本を読んでみたくなった。

ここでは、鶴見図書館員がおススメする絵本をご紹介します。ぜひ、一度手に取って、絵本の世界のすばらしさを体験してみてください。



鶴見図書館員おすすめ絵本



ショーン・タン/作・絵
河出書房新社/発行

アライバル

字のない絵本です。移民たちが見知らぬ土地にたどりつき、そこになじんでいく様子をイラストだけで描いています。セピア色一色の画面はまるでサイレント映画を見ているよう。絵だけでこれほどまでに訴える力があることに驚かされます。



雑賀理恵子



安野光雅/作・絵
福音館書店/発行

旅の絵本Ⅷ

海外のさまざまな国を旅するシリーズの8冊目は、日本の懐かしい風景です。昔の漁村や農村の様子、小学校、お祭り、汽車など、細かく描かれた絵が郷愁を誘います。お子さんやお孫さんと探し絵を楽しみながら、昔の話をしあえるのもいいかもしれません。



若林和彦館長



いとうひろし/作・絵
講談社/発行

だじょうぶ だじょうぶ

小さな「ぼく」は、おじいちゃんとお散歩をする度に、さまざまなものに出会います。中には怖いもの、困ったこともあり、大きくなることに不安を感じてしまいます。すると、おじいちゃんには、「だじょうぶ、だじょうぶ」とおまじないのように声をかけてくれました。優しさや成長を感じる一冊です。



廣瀬淳一



佐藤雅彦+ユーフラテス/作
福音館書店/発行

中をそうぞうしてみよ

中がすけてみるX線写真の技術を使って、身近にあるさまざまな物の中身のぞいてみられる本。イスに刺さった「釘」やぶたの貯金箱の「コイン」。包丁の持ち手のなかみに、最後は…？子どもの心に帰って『想像力』の世界を楽しめる1冊です。



山下陽子



ジャニス=メイ=ユードリイ/作
マーク=シーモント/絵
西園寺祥子/訳 偕成社/発行

木はいいなあ

暑いとき、木は木陰をつくってくれる。秋になって葉っぱが落ちると、落ち葉を集めてたき火もできる。枝に座って、じっと考えることもできるし、海賊ごっこもできる。この本を読んで、私は家のベランダにオリーブの木を植えました。ちょっと違うかな!?



橋本有香子



李錦玉/文 朴民宜/絵
朝鮮青年社/発行(絶版)

あおがえる

いたずらっ子であまのじゃく、そんなカエルの子の母さんはついに病気になってしまい…。朝鮮の有名な民話に、在日2世の二人の作家は情緒あふれる絵と美しい日本語の詩文をつけました。巻末の朝鮮語訳詩は日朝の感情表現の違いも楽しめます。



奥津良子

01 大人のための絵本の魅力、そして、ブックトークとは…

大人だからこそその絵本の楽しみ方

大人の読書といえば小説や実用書などと思われがちですが、近年、大人向けの絵本や読み聞かせがひそかなブームになっています。出版不況と言われる中でも、絵本の売上げは年々伸び続けており、毎年5,000冊もの絵本が発刊。それに伴い、大人の読者も増えています。絵本というと「子ども向け」のイメージが強いですが、大人だからこそ気づく発見や感動もあるはず。また、文章だけでなく、絵や写真をじっくり見ることでの「癒し」の効果も絵本にはあります。時間がたっぷりある秋の夜長こそ、絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

高齢者と絵本、ブックトークって何?

近年、絵本は高齢者向けの読み聞かせや介護の現場でもその効果が注目されています。その理由のひとつが、視覚から情報を取り入れやすいこと。そして、絵や写真が中心の絵本は、通常の読み聞かせはもちろん、テーマを決めて本の魅力を対話形式で伝えるブックトークにも最適とされています。特に高齢になると、視力や聴力、持続力の低下から読書から遠ざかる傾向があり、ブックトークはそんな

高齢者が本に触れる良い機会にもなります。本を通しての対話や記憶の回帰で脳が活性化したり、他者とのつながりや互いの存在意義を再確認できたりと、ブックトークは高齢化が進むこれから、ますます注目される手法です。興味のある人はぜひ下記の講演会へお越しください。

絵本を介護現場に届けよう ～介護とブックトーク～

28年度
つるみ読書
講演会

絵本の魅力や高齢者への読み聞かせの効果などについての講演とディスカッションです

📅 11月19日(土) 13時30分～16時

📍 鶴見大学会館(鶴見駅西口徒歩1分)

第1部:基調講演 吉岡真由美氏

第2部:パネルディスカッション

定員300人 10月12日から 又は 又は

📞 区役所区民活動支援係 ☎510-1695 ☎510-1892

📄 詳細は ☎ つるみ読書講演会 検索

【吉岡真由美】…医療福祉専門学校ハーベスト講師、介護福祉士。「介護とブックトーク」共著者。開校当初から高齢者向けに読み聞かせ、本の紹介などの授業と実践を行う。
※本紙7ページ「本のひととき」で紹介



02 近場にもある読書を楽しめるスポット

図書館は遠くて通えないという人にはこちらをおススメします



地区センター

各センターで約1万冊を所蔵

区内6か所(潮田、駒岡、末吉、寺尾、生妻、矢向)にある地区センターには、各1万冊前後の書籍があり、貸出しも行っています。利用者が少ない分、図書館より人気の新刊が借りやすいという利点もあります。



市民図書室

土日限定で開く校内図書館

区内の4小中学校(岸谷小、豊岡小、東台小、末吉中)内にある市民図書室は誰もが利用できる、原則、土日の決まった時間のみ開館します。市民図書室の本であれば、貸出しもOKです。お気軽にご利用ください。



コミュニティハウス

のんびり読書を楽しめる空間

コミュニティハウスは、平均的所蔵数では地区センターより少ないものの、開放感があったり、文庫本が多かったりと施設ごとに特徴もさまざま。また、鶴見中央コミュニティハウスでは、本の取り寄せも可能です。



大学図書館

蔵書80万冊の大学図書館

今年6月から区民等も閲覧できるようになった鶴見大学と横浜商科大学の図書館。主に専門書や貴重な書籍も豊富な鶴見大学は、80万冊を所蔵します。一方、商科大は商業関連のほか、雑誌やベストセラーも充実しています。

03 知られざる図書館の裏側。今、図書館ツアーが人気!



普段は見ることのできない図書館の裏側をご案内する「図書館ツアー」。前回ツアーが好評だったことを受け、第2弾を開催します。今回、大学図書館では数種類ある書庫の見学、鶴見図書館では予約した本がどういった経路で手元へ届くのかなど流通の舞台裏も紹介。これまで知らなかった図書館の新たな一面が学べます。



普段は見られない場所も見学できる

大人限定! 参加体験型イベント 「鶴見 おとなのための図書館ツアー」

- ① 横浜商科大学図書館ツアー…11月11日(金) 10時～11時
- ② 鶴見図書館ツアー…11月15日(火) 14時～15時
- ③ 鶴見大学図書館ツアー…11月16日(水) 10時～11時

📍 どなたでも(鶴見大学は区内在住・在勤・在学者)
定員 ①③各20人、②10人 無料
📞 10月21日から電話か直接、鶴見図書館 ☎502-4416 へ